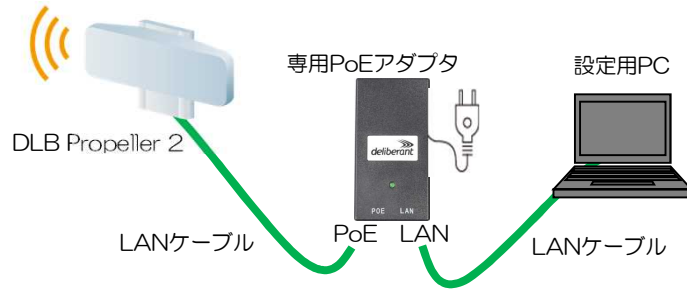


①機器接続



※専用PoEアダプタにリピータ機能はありませんので、ネットワーク機器-Propeller間のLANケーブル長は最大100mとなります。

③映像伝送等UDPプロトコルを利用する際の追加推奨設定

APとStationで タブ内の タブで以下の設定後、右上のSave changesを押します。

**AP設定** IEEE mode: 802.11n ← 802.11nを選択 Channel: Auto / 20 MHz ← 20MHzを選択

**Station設定** Channel width, MHz: 20 ← 20MHzを選択

**Advanced radio settings** をクリックして、

Autorate mode: Alternative (PER based) ← Alternativeを選択

Radio mode: MIMO 2x2

Max 802.11n MCS index: MCS8 (13 Mbps) ← ビットレートのピーク値の1.3倍以上の最小値

BA window size, frames: 8 ← 8に設定

Fragmentation:

RTS/CTS:

WMM:

AMSDU:

Short GI: ← チェックを外す

②基本設定

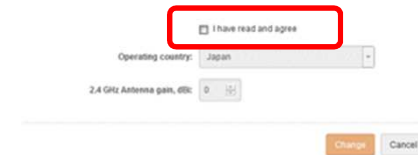
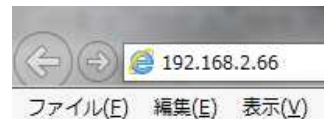
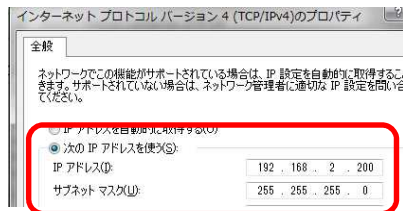
一方をAP(親局)として設定することにより1対1ブリッジ接続ができます。初期値はStation(子局)です。

パソコンをStationのサブネットにセットしてください。  
(例) 192.168.2.200

WEBブラウザを開いてIPアドレスを指定してください。  
初期設定 (192.168.2.66/24)

初期パスワードを入力し、Loginボタンを押してください。  
初期ID、パスワード  
Username : admin  
Password : admin01

初期ログイン時に、使用国の設定を行う必要があります。必ずOperating Countryに“Japan”が選択されていることを確認し、I have read and agreeにチェックをいれ、Changeボタンを押してください。



※本製品の販売時期によっては、IPアドレスの初期値がDHCPによるIPアドレス自動取得設定となっています。DHCPサーバとネットワーク上で接続されている場合は、サーバと切り離れた環境でログインをお試し下さい。

タブ内の タブで Operating mode から Access pointを選択してください。



↑ Access pointを選択

タブ内の タブの IPv4 configuration で IP addressに 192.168.2.67と入力した後、Save changesを押して下さい。



数分後リンクLEDが点灯し、ブリッジ接続が完了します。

